第11号 2019 (平成31) 年4月8日発行 びっくり!エコ新聞

COP24のポーラン



■ポーランド3都市を訪問

2018年12/3~/9の7日間、COP24開催期間中 に、産官学連携メンバーでポーランドのワル シャワ、クラクフ、カトヴィツェの3都市を訪れ ました。この訪問も、DO YOU KYOTO? 親善 大使であるポーランドのカナさん(Katarzyna) Michniewskaさん)の協力により実現しまし た。京都大学 浅利美鈴先生をはじめ、さまざ まな環境問題に取り組む企業の方々や京都市の 方とともに、現地企業やカトヴィツェ市の方々 などとも交流を深めることができました。

また、COP24が開催されたカトヴィツェで は、石炭火力発電が今も主流であることもあり、 多くの家庭や事業所の煙突から常に黒煙が出て いる様子が見受けられたという参加者の声もあ りました。

■ポーランドでの DO YOU KYOTO?キャンペーン

12月5日にはショパンハウスにおい て、日本とポーランドにおける 「DO YOU KYOTO ?キャンペーン」の成果報告を中心に、 交流を深めました。日本側からは京都市の小中 学校における環境教育や、京都の大学における 環境活動の取組などを発表しました。

ツェのサイドイベントにおいて、DO YOU KYOTO?のマスコットキャラクター「エコ ちゃんねぶた」を披露するほか、町家・打ち 水・しまつの心など京都の文化と融合した環境 活動や、小中学生が描いた環境ポスター、ポー ランド関係者が京都を訪問したときの様子、京 都市長のカトヴィツェ市民に向けたメッセー さに必要だと思いました。 ジなどを動画を開いて発表しました。

また、12月6日には、COP24・カトヴィ

12月7日は、Palace of youth という 施設で、カトビィツェ市内の中学、高校の 先生たちの参加するシンポジウムを開催す るとともに、京都の安朱小学校・梅小路小 学校・京都大原学院の児童生徒が描いたポ スター展示も行いました。ポスター展示の 際には、見ている人から直接コメントをい ただきました。その中には、京都の子ども たちが座学で学ぶだけではなく、自分たち にできることを考え、表現していることに 感銘を受け、自分の子どもにもポスターを 描かせてみたいという声もありました。ま た、子どもたちがどれほど繊細に環境問題 の影響を感じ取っているかがわかるという 率直な意見もありました。一方、カトビィ ツェの子どもたちも、大気汚染に関して しっかり問題意識を持っているだけでな く、学校によっては改善に向けた行動を促 進するイベントを行っているそうです。

京都とポーランドで、直面している環境問 題は違っても、豊かな文化や環境があること を共通事項として、ともに環境問題解決に向 けて市民レベルで行動していくことが、今ま







COP24 サイドイベントで DO YOU KYOTO ? キャンペー ン発表を行いました





日本に送るメッセージカードを市民の方 京都市の参加者と現地関係者の方々

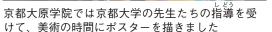


ポスター展示

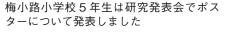
COP3の京都では

2018年11月下旬にはポーランドからカタジーナさんとともにショ パンのピアニストや著名ニュースキャスターたちが京都を訪れ、御所 南小学校や京都造形大学でイベントやコンサートを開催して、ポーラ ンドでのCOP24をPRしました。











京都造形芸術大学内カフェ Verdi ではポスター 展とピアノコンサートが開かれました

COP24 特集

ポスターがつないだエコのきずな

2018年12月2日~15日、地球温暖化を防ぐための国際会議COP24^{※1}が ポーランドのカトヴィツェ市で開催され、2015年のパリ協定*2の実施に向け たガイドラインが採択されました。

*びっくりエコ発電所、では、昨年来、ポーランドのカタジーナ・ミフニェ フスカさん (DO YOU KYOTO? 大使) と協働で、「DO YOU KYOTO?」 を 世界に広め、地球の温暖化を止めようとする活動を進めてきました(『ビック リ!エコ新聞』第10号に掲載)。

その一環として、京都市立京都大原学院 (7~9年生) と梅小路小学校 (5

年生)では、京都大学大学院大学院地球環境学堂の協力を得て、地球環境問 題について学びながら「DO YOU KYOTO? ポスター」を作成。12月の COP24本番には、浅利美鈴准教授とスタッフが、日本の子どもたちのポスター を携えてポーランドを訪れ、会議を視察するとともにポーランドのポスターと 合わせて展覧会を開催し、「DO YOU KYOTO?」を世界にアピールしました。

今号の『ビックリ!エコ新聞』は、COP24に合わせた日本とポーランドの 取組をレポートします。

※ 1:国連気候変動枠組条約第 24 回締約国会議

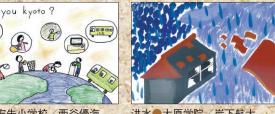
※2:世界の平均気温上昇を産業革命以前より2℃をはるかに下回る水準に抑えることをめざす

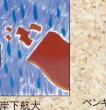
DO YOU KYOTO?ポスター 紙上展

京都市立安朱小学校は SDGs 学習の一環として、梅小路小学校は英語と環境学習、京都大原学院では地球温暖化と COP24 を学ぶ環 境学習として、ポスターづくりに取り組みました。ポーランドで行ったポスター展を、紙上で再現します。



環境●安朱小学校/西谷優海











ごみ・安朱小学校/藤室雪花



エネルギー●安朱小学校

















蝶●大原学院/中内友華









森林リス●梅小路小学校/チーム

森林●安朱小学校/吉田早希

DOYOUKYOTO

オオサンショウウオ・梅小路小学校

/オオサンズ

オオサンショウウオ●大原学院/ 本山湖々

西川完遂先生(原都大学大学院)に聞きました



西川先生は、京都で発見される 外来種チュウゴクオオサンショウ ウオの生息状況や生態・行動の調 査などを行っています。著譜に子 どもの成長とオオサンショウウオ の一生を描いた絵本『オオサンショ ウウオみつけたよ』があります。

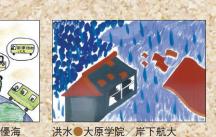
「おり、オオサンショウウオが夜行性という生 態を知っています。陸地からではなく、水中の生き物曽 ハと思います。オオサンショウウオが4本指だという両 L類の特徴もしっかりとらえていて、とても観察点が高 い作品です。また、これは交雑のオオサンショウウオで あり、京都水族館でスケッチをしたのかもしれませんね。 ▶このオオサンショウウオは、川が汚れていてあまり魚 がいないところにいて、きれいな川の中で住みたいと夢 見ているのではないでしょうか。この絵からはそんな メッセージが読み取れます。

●その他、気になったのは「放蝶会」のポスターです。 日本の国蝶であるオオムラサキは、現在個体数が減少し ています。オオムラサキの食草であるエノキが減ってい るからです。この絵には、オオムラサキとともにエノキ も描かれている点が評価のポイントです。

全体のポスターについて感心したのは、こどもたちは 思ったことをそのままに、でも、ちゃんとした知識をもっ て描いている点です。京都は人口が多いにもかかわらず 自然が豊かで、豊富な湧き水が地域の生活やお店を支え ています。京都の神社やお寺も、山があってこそ。京都 は自然と文化が融合しているまちであり、子どもたちに は京都で育っていくなかでそういった自然に恵まれてい ることをしっかり認識してほしいと思います。

環境のトビラ●大原学院/和田宇伊菜 環境●安朱小学校/八田侑希子 台風●大原学院/須野原誠二









土砂災害●大原学院/中川塔子





behaiver impacts ANIMALS.

雨●大原学院/大林慶悟



紫外線●梅小路小学校∕Human リサイクル・大原学院/西田優輝

リサイクル・大原学院/内海希咲





O YOU KYOTO ?!



それか



Save energy save the planet.







交通●大原学院/青山大晟





交通●安朱小学校/加瀬歩美



蝶●大原学院/辻希実

熊●大原学院/田中涼